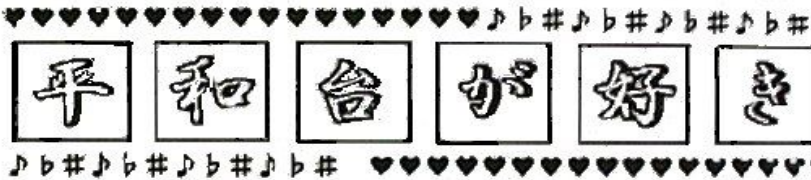


平成22年10月17日発行  
第74号

発行 印南 宏  
発行責任者 印南 宏



運動会や秋の竹内神社・布佐下稲荷神社のお祭りも終わり、季節は本格的な秋を迎えています。今年の冬のは例年になく寒い冬になるとの情報もあります。平和台の皆さま、いかがお過ごしでしょうか！

暑い夏・民主党代表選挙

今年の夏は異常に暑い、猛暑の夏となりました。「あつー」といえば政治の世界も同じ。劇的な政権交代も一年、七月十一日に行われた参議院選挙で政権与党の民主党は大敗しました。その後、鳩山首相の辞任やマニフェストの見直し、そして、政権党の実力者同士が「総理の座」を争う代表選へと国政は大きく揺れ動いていきます。日本は急激な円高、株安、さらには緊迫する国際情勢など、取り組むべき難題が山積する形となつてしまっています。代表選挙の結果は世論調査の通り、「政治と金」に調査の通り、「政治と任期」を加え、経験のない菅首相を任せることと否として

反小沢で終始しました。二人のスピーチは、ともにキング牧師の歴史的な演説を思わせる、「私には夢がある」と呼びかけ、この困難な時期に国政のトップを目指す二人は私たちに夢の大切さを熱く語りかけた内容でした。是非とも、その夢が正夢となるように、政治の実行力に期待したいと思っております。

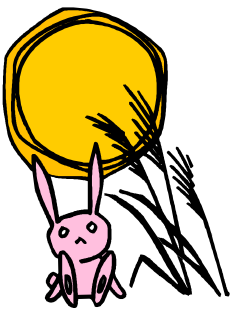
市政施行四十周年とゆめ半島千葉国体

今年、我孫子市は市政施行四十周年の節目の年です。昨年、景気悪化のために中止された「手賀沼花火」実施に向けて、我孫子市と柏市、両市が共同で募金を呼びかけ、募金は約四百八十万円も集まりました。八月の県内最大規模の一万三千五百発を盛大に打ち上げた花火大会は天候にも恵まれ、たこともあり、例年にもない、一味違うすばらしい大会となりました。千葉県では第六十五回国民体育大会「ゆめ半島千葉国体」が開催されました。全国からトップアスリートが千葉に集いました。我孫子市は、なぎなた競技会を担当し、千葉県は総合三位に入賞しました。十月五日に閉幕したゆめ半島千葉国

体は結果として千葉県は悲願の天皇杯、皇后杯を獲得し、十一日間の国体は多くの感動とともに無事に終了しました。今月二十三日からは第十回全国障害者スポーツ大会が千葉県で初めて開催されます(ゆめ半島千葉大会)。全国から集う三千人を超える選手の方々に大きな声援を送りたいと思っております。

いよいよ選挙本番へ！

我孫子市は、来年一月(一月十六日告示、一月二十三日投票)に市長選挙、四月には県議会選挙、そして十一月には定数が二十八名から二十四名と四名減となる我孫子市議会議員選挙など各種選挙が予定されています。自分たちの住むまち、「我孫子」をどんなまちにしたいのか、いききたいのか、市民の皆さんが審判を行って時期がやってきました。賢明なる市民の皆さんには、日頃から政治について一層の関心と監視の目を持って、私たち一人ひとりの思いを、市政に県政に反映させて欲しいと願っています。



★九月定例市議会★

九月議会は八月三十日(月)から九月十六日(木)まで、十八日間行われ、最後の代表質問が行われる九月議会であり、全部で代表・個人質問併せて十六名の議員が質問に立ちました。私は三日目の午後に登壇し、環境行政、都市行政、交通行政など市民から寄せられた課題を中心に個人質問を行いました。

- また、担当している環境生活常任委員会では、第四号議案「我孫子市ペット霊園設置の許可等に関する条例の制定」では、設置基準のあり方や移動火葬車による行為の制限等、規則の充実に、所管事項として、①手賀沼の水質浄化策として手賀沼沿い公衆浴場施設の排水調査について、②天王台駅南北、ムクドリ糞害対策の強化、我孫子らしい対策の実施、③安全安心なまちづくりとして防犯行政、移動交番と既設交番の充実、④商工業の活性化策として我孫子市商工業振興基本条例の制定と具体的な産業活動支援条例の必要性をいたしました。

《主な争点となった行政課題》

①議案：「ペット霊園の設置許可に関する条例」県内初、移動火葬車も規制へ！  
 ②議案：九月補正予算のあり方（地方交付税と臨時財政対策債、要保護・準要保護児童生徒就学援助費）  
 ③請願：永住外国人への地方参政権付与の法制化に反対する意見書の提出」

◆印南宏は九月市議会で個人質問に登壇しました。主な質疑内容は次の通りです。◆

九月議会

印南 宏個人質問主なポイント

①新焼却炉を建設する際、デイケア等リハビリに活用できる温水プールの併設を！  
 ②我孫子市独自の自殺対策制度の確立を！  
 ③市内三十三箇所ある雨水調整池を有効活用せよ！（篠の越調整池をモデルに）  
 ④コウノトリやトキが舞う自然環境の整備について！  
 ⑤成田線の利便化（成田スカイアクセス線と交差する新駅の建設）を！

♪ぜひご覧下さい♪

印南が代表を務める  
 「あびこ21」ホームページ  
<http://abiko21.exblog.jp/>

我孫子市  
 公式ホームページ  
<http://city.abiko.chiba.jp>

◆主な個人質問 Q & A (抜粋)◆

①新焼却炉の建設時、温水プールの設置を！

宏：新炉建設が自区内処理となった場合、地域対策の一環として、多目的な温水プールを設置することは、現在の市の財政状況からすると、補助金の活用を含めて最大のチャンスである。超高齢化社会の時代において、必要なデイケア等リハビリに活用できる温水プールの設置を実現してほしい！

環境経済部長：現在、新炉建設にあわせた温水プールの設置は考えていませんが、余熱を利用する付帯施設については、建設計画を策定する段階で、様々な角度から検討していきたい。

②独自の自殺対策制度の確立！

宏：八月末に第一回自殺対策協議会が開催されたが、単に自殺の実態の把握や共有化を行うだけでなく、明確な自殺対策の目標を掲げることが必要である。我孫子市独自の自殺対策制度を構築すべきである！

健康福祉部長：平成二十一年度市内で三十七人が自殺しており、傾向として女性より男性が多く、年代別では中高年が多くなってきている。自殺対策協議会は医療機関や福祉関係者、警察など十四名で構成された組織である。自

治体として必要な情報入手して、国や県と十分な連携を図るとともに、協議会の各委員からも自殺に関する様々な情報を提供していただき、我孫子市の自殺対策を総合的に取り組んでいきたい。

③雨水調整池の有効活用策！

宏：市が管理する調整池は三十三箇所存在するが、「篠の越調整池」をモデルケースに我孫子市の財産である調整池を、より市民に親しみやすい親水性あふれる調整池に再整備を図ってほしい！

建設部長：篠の越調整池は自然を活かした調整池であり、布佐市民の森に隣接し、周囲は多くの自然が残存した水鳥の休息場所となつている。このようなことから、多目的の活用には、安全性を確保した上で、より親水性を高めるため、野鳥観察できる施設やフェンスの改修を検討していきたい。

④コウノトリやトキが舞う自然環境の整備について！

宏：今回、我孫子市は「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」へ加入したが、過去、平成十九年にコウノトリ放鳥事業を凍結した経緯があるが凍結を解除すると理解してよいのか、また、今後の対応として具体的にとどのように取り組んで行こう

環境経済部長：我孫子市が独自で行うコウノトリの放鳥事業について、ご指摘のとおり平成十九年度に凍結とした。この方針は現在も変わっていない。具体的行動として、まずは野生復帰に向けた情報の共有、意見交換を予定している。可能な範囲で協力していきたい。

⑤成田高速鉄道アクセス線と交差する新駅の建設を！

宏：今年、七月に開通した成田スカイアクセス線の成田湯川駅に、JR成田線が接続できる新駅が必要である。この新駅で乗り換えることができると、成田線から乗り継ぎの改善が図られることや、JR成田線の下総松崎駅と成田駅間に中間の駅ができることで列車のすれ違いが可能となる施設が増え、一時間当たり約100本の列車が運行される。増やすことが可能となる。再度、JR成田線の新駅の必要性を強く要望していくべきである。

市長：成田スカイアクセス線の成田湯川駅と乗り換え可能なJR成田線の新駅の設置について、本年七月に成田線活性化推進協議会や千葉県JR線活性化推進協議会や重点項目としてJR成田線沿線にある新駅設置は、日本に要望している。新駅設置は、千葉西部や埼玉県、茨城県、さらなる成田空港へアクセスが改善される観点から望ましいと考え



